

2023 年度第 9 回価格審査会の開催について

2023 年度第 9 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2023 年 12 月 14 日(水) 10:00~12:00
場 所	本部 6F 大会議室
委 員	田中 弘 日本工営ビジネスパートナーズ株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室 シニアエンジニア 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 栞原 圭一 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 早川 和利 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

2023 年度第 8 回価格審査会議事録(案) 確認

2023 年度第 9 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」1月号、「Web 建設物価」1月号</p> <p>「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格動向</p> <p>・価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】</p> <p>レディーミクストコンクリート（五所川原A地区ほか 19 都市）、再生砕石類（小樽市ほか 8 都市）、一般建築用木材（青森市ほか 45 都市）、アスファルト混合物（札幌市ほか 17 都市）、600Vビニル絶縁電線（IV）（北海道地区ほか 9 都市）、硬質ポリ塩化ビニル管（北海道地区ほか 9 都市）、燃料油（札幌市ほか 40 都市）ほか。</p> <p>【土木コスト情報】</p> <p><市場単価>鉄筋工（北海道ほか 26 都府県）、ガス圧接工（青森県ほか 26 都府県）、インターロッキングブロック工（青森県ほか 37 都府県）、道路標識設置工（全都道府県）、道路植栽工（全都道府県）、公園植栽工（全都道府県）、橋梁用伸縮継手装置設置工（北海道）、橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工（北海道）。</p> <p><土木工事標準単価>排水構造物工（沖縄県）、道路反射鏡設置工（全都道府県）。</p> <p>【建築コスト】</p> <p><市場単価>鉄筋工事（札幌市ほか 34 都市）、圧接工事（仙台市ほか 4 都市）、コンクリート工事（打設手間）（新潟市ほか 1 都市）、型枠工事（札幌市ほか 15 都市）、塗装工事（札幌市ほか 8 都市）、内装ボード工事（札幌市ほか 8 都市）、電線管工事（札幌市ほか 8 都市）ほか。</p>

<標準施工単価>内装工事（壁・天井）（札幌市ほか9都市）、解体工事（木造）（札幌市ほか9都市）、防水改修工事（東京都23区ほか2都市）、耐震改修工事（撤去、清掃）（東京都23区ほか2都市）、照明器具工事（札幌市ほか9都市）ほか。

・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

異形棒鋼（福岡市ほか6都市）、H形鋼（福岡市ほか6都市）、等辺山形鋼（福岡市ほか6都市）、鋼板（福岡市ほか6都市）、鉄スクラップ（札幌市ほか20都市）ほか。

【土木コスト情報】

<土木工事標準単価>橋梁塗装工（全都道府県）、構造物とりこわし工（全都道府県）、コンクリートブロック積工（全都道府県）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）（全都道府県）表面含浸工（全都道府県）、連続繊維シート補強工（全都道府県）、仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）（全都道府県）抵抗板付鋼製杭基礎工（全都道府県）ほか。

【建築コスト】

<標準施工単価>土工事（親ぐい横矢板工法）（全都市）、土工事（山留め支保工）（全都市）。

2. 比較資料

・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問1	「一般建築用木材」の値上がりに対する補足コメントに「大手木材工場の火災による一部品種での出荷制限により、需給バランスが崩れ上伸」とあるが、その状況と今後はどのように見ているのか。	国内シェアトップの大手メーカー工場が8月末に火災が発生し、米松を使用した加工木材の出荷が制限されたため、製品需給が引き締まり代替品種を含め値上がりした。先行きは、工場の復旧も進捗しているとのことで、需給のひっ迫は徐々に解消すると見られている。
質問2	建築コスト情報の設備関連工種に価格上伸が見られるが、その理由に対する補足コメントには材料費に対する言及が多い。労務費は値上がりしていないのか。	前号、前々号の値上がり時には材料費の値動きが少なかったために労務費に対する言及が多かった。今月号は材料費の値動きが多くその影響が大きい工種が多かったことから材料費の記載が多くなっている。
質問3	建築コスト情報「鉄筋工事」「型枠工事」において大阪地区が東京地区と比較して値上がり幅が小さいが、大阪・関西万博による影響はないのか。	「鉄筋工事」「型枠工事」の大阪地区における労務需給は引き締まり続けているが、大阪・関西万博による影響は現在のところ見られない。

質問4	<p>「産業用火薬類」では名古屋市及びその周辺地区、「視覚障害者用誘導ブロック」では名古屋市だけが値上がりしている。なぜ他地区は変わらずで、名古屋市及びその周辺地区だけ値上がりしているのか。</p>	<p>「産業用火薬類」は販売側の商圏の関係で、ある程度まとまった地域で値動きする傾向があり、先月は関東以北の地域で値上がりし、今月は名古屋市及びその周辺地区で値上がりした。「視覚障害者用誘導ブロック」は地域ごとに値動きが異なる地場性の強いコンクリート二次製品であり、今月に名古屋市で上伸したという結果である。</p>
質問5	<p>変圧器の変動率が最小29%、最大51%と大きい。補足コメントには「原材料高や輸送コストの増加に伴うメーカーの値上げが浸透」とあるが、一般的な鋼材の変動率と比較して大きいように見えるが、どのような状況なのか。</p>	<p>変圧器の価格見直しは1～2年程度の長期間に渡り行うことが多く、この期間に40%程度値上がりしている鋼材もある。鋼材使用比率が高い機器は値上げ幅も大きくなる傾向にある。</p>
質問6	<p>土木コスト情報と建築コスト情報の類似工種における価格変動の違いについて2点確認がある。1点目は「道路植栽工（土木）」は全国的に値上がりしているが、「植栽工事（建築）」は東京地区のみの値上がりである。この「全国」と「東京地区のみ」の違いは何か。2点目は「構造物とりこわし工（土木）」は下落しているが、「解体工事（建築）」は上伸している。この「下落」と「上伸」の違いは何か。</p>	<p>1点目は掲載都市の違いによるものである。「道路植栽工（土木）」は「47都道府県」単位で価格掲載しているのに対し、「植栽工事（建築）」は「東京地区」のみ掲載している。2点目は調査方法の違いによるものである。「構造物とりこわし工（土木）」は土木工事標準単価であり、調査した歩掛りに材料、労務、機械経費を積上げて算出している。歩掛りや労務費は年1回の更新であり今月号では変更なかったが、燃料油が値下がりしたため「下落」した。これに対し「解体工事（建築）」は建築工事標準施工単価であり、市場取引価格を直接調査している。労務費上昇を背景に専門工事業者の値上げが浸透し「上伸」した。</p>
質問7	<p>木質系床材「複合フローリング」「複層フローリング」「複層フローリング・特殊品」が値上がりしている。これらの値上がりは一部の規格なのか、それともフローリング全般なのか。</p>	<p>フローリング全般の値上がりである。主な原材料である広葉樹の価格上伸を背景に、フローリング全般で値上がりしている。</p>

質問 8	「仮設鋼材賃貸料金」の値下がりに対する補足コメントに「H形鋼不足分弁償金が下落」とあるが、「H形鋼不足分弁償金」とはなにか。	「H形鋼不足分弁償金」とは、仮設用 H 形鋼の賃貸契約期間中に返却あるいは転用が不可となり全損扱いとなった場合に発生する弁償金である。賃貸料金の値動きとは関連性が低く、新材の H 形鋼価格と連動する性質が強い。
質問 9	補足コメント欄の「労務費上昇」に関連して、「労務費の上昇」と直接的な表現の場合と「労働需給ひっ迫に伴う値上げ」という状況説明で表現している場合がある。両者に使い分けはあるのか。	職人不足を背景に、労務者確保が優先され値上がりしている場合に「労務需給ひっ迫」と状況説明で表現することが多い。
審議結果	「建設物価」1月号、「Web 建設物価」1月号 「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格動向に問題はなかった。	

以上